

\* 開催形態・申込の URL 等は日本地理学会 2022 年春季学術大会の最新情報をご覧ください。<https://www.aig.or.jp/meeting/>

## 日本地理学会 2022 年春季学術大会シンポジウム 2 :

### テーマ「世界地誌学習の新たな方向性—中国地誌をどうとらえるか—」

主催：日本地理学会地理教育公開講座委員会

共催：日本地理教育学会

開催日時：2022 年 3 月 19 日 9:00~12:00

場所：東京大学, オンライン

オーガナイザー：田部俊充（日本女子大）・本木弘悌（早稲田大学高等学院）・上野和彦（東京学芸大学名誉）

9:00-9:20 田部俊充（日本女子大）・郭明（東京家政大・非）：

世界地誌学習の新たな方向性—中国地誌をどうとらえるか—

9:20-9:40 本木弘悌（早稲田大学高等学院）・上野和彦（東京学芸大学名誉）：

「これから」の中国地誌学習を考える— 学習教材の検討と授業の視点—

9:40-10:00 澤田康徳（東京学芸大）：

中国地誌学習に関する自然地理的内容の扱いの検討— 日中の中学校地理教科書の分析を通して—

10:00-10:20 張貴民(愛媛大)：

食料産地の地域分布から中国地誌を学ぶ

10:20-10:40 小野寺淳（横浜市立大）：

近年の中国の動向と地誌学習

#### 【休憩】

10:50-11:10 竹内裕一（千葉大学名誉）：

総括・世界地誌学習の新たな方向性—中国地誌学習に着目して—

11:10-11:45 討議・発表者から一言

11:45-12:00 挨拶・次回予告「第 42 回日本地理学会地理教育公開講座について（仮）」

記録：清永奈穂（日本女子大学大学院生）・櫻井美砂（日本女子大学大学院生）

#### 企画趣旨

日本地理学会地理教育公開講座は世界地誌学習の充実のために、海外のフィールド研究を積極的に行っている地理学者と地理教育実践者のコラボレーションを行ってきた。世界地誌学習は多様な世界—自然・産業・民族・文化・宗教等—を読み解き、自らの生き方、地域や国の未来を考える学習である。中国地誌は、日中両国が辿った歴史と文化、現代の政治的諸関係、経済的結合等を考えれば、最も身近な世界地誌学習とも言えよう。本シンポジウムでは、中国地誌学習に活用できる最新情報の共有と授業実践の視点を提示したい。